

ふくい女性ネット REPORT

ふくい女性ネットとは…

県内の企業、事業所、団体等で活躍中の女性が、相互交流、自己研鑽、企業等における女性の活躍促進を目的として、講演会や交流事業、情報発信事業に取り組んでいます。

<http://pref.fukui.lg.jp/doc/joseikatuyaku/ladygp/f-net.html>

ふくい女性ネット第8期生32名により、今年も「未来きらりプログラム」が元気にスタート！女性リーダーの育成を推進するため、福井県とお茶の水女子大学が共同で作成したプログラムで、今年で4年目を迎えます。今回は、4月に行われた合宿、5月に行われた「キャリアデザイン」講座、6月に行われた「コミュニケーション」講座の様子をレポートいたします。



ふくい女性ネット 第8期スタート



キャリアアップを目指して第8期メンバーが親睦を深めながら、共に学び、企画、運営などさまざまな事にチャレンジしていきます。平成27年4月、ユ一・アイふくい(福井県生活学習館)で第1回講義(合宿)を開催しました。

第8期 会長・副会長 決定



会長 夏目秀美さん
株式会社信越マグネット
第8期の女性もパワー全開！キラキラ輝いています。仲間と学び更なるキャリアアップを目指しましょう。



副会長 片山五月さん
第一織物株式会社
二年目では一年目の学習を発展させる一員として、第8期も頑張りたいと思います。



副会長 道浦律子さん
福井新聞社
メンバーから学び、私が社会人生活で経験したことを伝えていけたらと思っています。

4月24日(金) 合宿1日目 自己紹介

第8期生として初めての顔合わせ。自己紹介は1人3分という短い時間の中に、自分の会社や仕事内容、趣味、家族などの紹介を盛り込んだ、それぞれに個性あふれるプレゼンテーションでした。さまざまな職種の方のお話は興味深く、これから一年間、互いに刺激しあい、向上していきたいと感じました。(担当：坂本)

4月25日(土) 合宿2日目 第1回講義 女性リーダー論



「リーダーシップ理論からみた女性リーダー」

講師 お茶の水女子大学 准教授 斎藤悦子氏

一言でリーダーシップと言っても、さまざまな考え方があり、すべての要素を身に付けて行動することは容易ではありませんが、問題にぶつかったときに、そこで求められるリーダーシップが何かを察知して、行動できる力をつけることが必要だと感じました。

本プログラム第5期生の先輩など、女性リーダーとして活躍している3名の方から体験談をお聴きすることもでき、私たちへのエールを送っていただきました。(担当：服部)

ふくい女性ネット(第8期)参加企業 : ふくい女性ネットの趣旨にご賛同いただいた企業

株式会社アイビックス
株式会社エイチアンドエフ
株式会社米五
株式会社信越マグネット
日本商運株式会社
福井県庁
株式会社福井新聞社
株式会社 PLANT

株式会社アスワ村田製作所
太田木材株式会社
坂井市
社会福祉法人新清会
株式会社ネスティ
福井県民生活協同組合
国立大学法人福井大学
北陸電力株式会社福井支店

アポットジャパン株式会社勝山事業所
株式会社大津屋
鯖江市
株式会社 SHINDO
福井県国民健康保険団体連合会
福井商工会議所
福井経編興業株式会社
社会福祉法人町屋福祉会

アンジュール株式会社
株式会社キタジマ
株式会社ジャルダン
第一織物株式会社
福井赤十字病院
学校法人 福井仁愛学園
福井鋳螺株式会社
松文産業株式会社 (32社 50音順)



第2回講義 キャリアデザイン



キャリアデザインについてグループ内で発表

5月7日(火) 昭和女子大学 望月由起准教授(お茶の水女子大学 客員准教授)をお迎えして「キャリアデザイン」について学びました。

「社会の中で、どのように生きていくのか?」や「どのように働きたいのか?」を自分で考える必要性、働く意味を解説していただきました。また、いくつかのワークシートの作成を通じて、自分の体験や影響を受けた事などをグループで話し合い、他のメンバーの意見も参考にしながら、自分らしい「生き方」「働き方」について理解を深めていきました。

自分を表現する場(役割)は一つではなく、さまざまな役割を持ち、時期や状況によっては役割の濃さをうまく変化させて、充実・満足できる生き方をしていきたいと感じました。(担当:河合)



第3回講義 コミュニケーション



6月16日(火) チームコミュニケーション ~伝え方と聴き方のブラッシュアップ~

(株)office CanDo 代表取締役 宮永満祐美氏をお招きし、チーム内での伝え方・聴き方について、ゲームや具体的なケースを想定した実践を交えながら楽しく学びました。受講者は主に1年目のメンバーです。

チームワークをよくするためには、全員が同じ方向を目指すことや、次に仕事をする人のことを考えること、時には相手のサポートのための犠牲を受け入れること、全体を見渡しながら仕事することなどが大切であると学びました。また、伝える側の伝え方と聴く側の姿勢で内容の伝わり方が全く違うことがわかり、双方が意識してコミュニケーションをとることの難しさを実感しました。言いにくいことを伝える際、相手の意見を尊重しながらも自分の意見を主張する「アサーティブ」な表現方法は意識して使っていきたいと思いました。(担当:飛弾)



発信力と受信力を磨く

6月24日(木) リーダーとしてのコミュニケーション

講師は同じく宮永氏にお越しいただき、2年目メンバーが受講。リーダーとしてのコミュニケーションスキルの1つとして、コーチングを学びました。キーワードは「私たちには多くのリソース(資源)がある」と「答えは相手を持っている」。ティーチングとコーチングの違い・有効な場面などを比べたうえで、コーチングを実践するためには、よりラポール信頼関係を常日頃から築いていく事が大事だと思いました。たくさんワークショップを通じて、ただやみくもに聞くのではなく、相手から答えを引き出しつつ導いていく力や相手が本当に大切にしたい事は何かを読み取る力が必要だと感じました。(担当:小川)



ワークショップでコーチングを学ぶ

編集後記

福井女性ネット第8期が4月から始動しました!

新しいメンバーが加わり、始めは緊張していましたが、徐々に親交を深めることができ、毎月楽しく講義を受講しています。講義では様々なグループワークも行ない、女性リーダーに必要なコミュニケーション力を学びつつ、親交も深めています。今年で4年目のきらりプログラム、1年間どうぞよろしくお願いいたします!